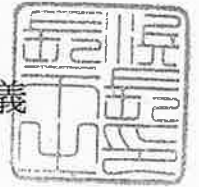




長財第93号
令和4年11月10日

長浜市議会議長 松本 長治 様

長浜市長 浅見 宣義



議会運営に関する再度の申し入れ

令和4年10月21日付け長財第88号及び長財第89号にて議会運営に関する申し入れを行った件については、令和4年10月31日付け長議第189号にて回答をいただいたところです。それによると、令和4年長浜市議会定例会令和4年9月定例会の予算常任委員会総務教育分科会以後、押谷與茂嗣議員に対し、何度も貴職からその言動を厳しく注意されていたにも関わらず、再度事態が生じたとのことです。本市は、この事実について驚きを禁じ得ず、非常に重大な事象と受け止めます。

つきましては、本市職員を守り、市議会での対等な議論の場を確保いただくため、押谷與茂嗣議員が、令和4年長浜市議会定例会令和4年10月20日総務教育常任委員会の開催前、終了後、及び当該委員会の休憩中に市長、副市長及び本市職員に対して行った別紙の言動についても、市議会として厳格な対応を求めるとともに、下記の2点を文書にて求めます。

記

- 1 押谷與茂嗣議員からの、謝罪対象となる言動を明らかにした署名、押印された謝罪文（市の指摘した問題の言動をすべて認める趣旨であれば、市の文書を添付し割印してください。）
- 2 長浜市議会としての具体的な再発防止策

浅見宣義市長が押谷與茂嗣議員と協議を願い出たところ

日時：10月20日（木） 14：45～14：50頃

場所：6階議員控室、廊下、委員会室1、2（委員会開会前）

議会側：押谷與茂嗣議員

当局側：浅見宣義（市長） ※同席：河瀬恵子（財政課長）、手崎俊之（秘書課長）

押谷與茂嗣議員発言要旨

「わし、お前としゃべりたくないで。」

「ええて！あほ、しゃべってな！」

「知らんて！帰れ！」

「口先だけでしゃべってな！」

「あほ、頭いいだけでものごとできるかい！」

「白黒だけで、できんのじゃ！覚えとけ！」

「お願いしたいんなら土下座してみい！あほ！」

「おい塩！おい塩持ってこい！塩持ってこいこのあほに！帰れ！もうええ」

「下がれ、下がれ、ずっと下がれ！」

押谷與茂嗣議員が委員会室を退出したところで江畑仁資副市長と対面したところ

日時：10月20日（木） 17：54頃

場所：6階廊下

議会側：押谷與茂嗣議員

当局側：江畑仁資（副市長）

押谷與茂嗣議員発言要旨

（途中まで、江畑仁資副市長のスーツの左襟元をつかみ）

「覚えとけよ！」

「徹底してやるぞ、わりゃ！」

「こらお前わかったるやろな！」

「われ、誰にゆうてるんや、われ！」

「わかったるやろな！、あれほてどけよいよ早いこと。」

「てめえおぼいとけ、こら！」

「やったるぞ！」

「あほか忠犬ハチ公！」

「こら江畑、おまえそんなことゆうてええんか！」

「あほしゃべってな！」

令和4年長浜市議会定例会令和4年10月総務教育常任委員会

日時：令和4年10月20日（木） 16:23～16:57のうち休憩中

場所：第1・第2委員会室

出席者：市議会議員 鋒山紀子（委員長）、中川勇（副委員長）、大橋延行、押谷正春、押谷與茂嗣、北川陽大、高山亨

市当局：浅見宣義（市長）、福永武浩（総務部長）、森宏志（総務部次長）、伊吹定浩（総務部管理監兼人事課長）、今田元宏（総務部人事課長代理）、河瀬恵子（総務部財政課長）

審議案件：【市議会指定事案】長浜市職員の定年の引き上げ及び再任用について

押谷與茂嗣議員発言要旨 <<休憩中>>

（福永武浩総務部長に対して）

「おもろいこと言ったらあかんぞ。責任とらんならんぞ。」

（浅見宣義市長に対して）

「市長は黙ってなあかん。お前、市長になって何か月経ってるんや。お前、前は黒か白しか知らんかったんやろ。できよかい。白黒でできたらお目にかかりたいわ。」

「お前は知らんはずや。できへんて。無理。100kgの車に1トンの荷物積んでるのと同じや。できんに決まってる。」

令和4年長浜市議会定例会令和4年10月総務教育常任委員会

日時：令和4年10月20日（木） 17:25～17:55のうち休憩中

場所：第1・第2委員会室

出席者：市議会議員 鋒山紀子（委員長）、中川勇（副委員長）、大橋延行、押谷正春、押谷與茂嗣、北川陽大、高山亨

市当局 浅見宣義（市長）、福永武浩（総務部長）、森宏志（総務部次長）、柴田拓也（総務部政策デザイン課長）小野祐二（総務部政策デザイン課副参事）、河瀬恵子（総務部財政課長）

審議案件：【報告事項】長浜バイオ大学と地域の連携に関するこれまでの検討状況について

押谷與茂嗣議員発言要旨 <<休憩中>>

（河瀬恵子財政課長に対して）

「ゆうたもんがほんなこと、ほんな言い方できるか。よう考えてもの喋らなあかんぞ。きちっと覚えとるんやでこっちはな。」

「あんなもん大ウソつきやでええ。」

「聞きたくない！もうしゃべるな。ええてもう。」

「喋っていらん。」

「ええてあかん、誠意がないであかんて。6千3百万のお金があんな簡単に動くて。」

「ほれに関わったもんはひとり一人、ええ気ありませんよ？」

「誠意のある喋りかたができんのなら聞きたくない。もうええ。」

「誠意がないであかん！」

「誠意がない人の話聞いたかてあかん。」

「もうええて、誠意のある答えできるかい。できんやろ。ほんならやめとけもう。」

(浅見宣義市長に対して)

「市長は黙ってなあかん！黙ってろ！」

「ええてもう。聞かんで、ええて。」

「知らん、知らん、おまんの話は聞きたくない！」